

ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学

名前 深瀬 孝之

作成日 2020年5月7日

【責任】

工学部建築学科に所属し、建築生産やコンクリート材料に関する教育・研究活動を行っている。建築施工、建築製図法、建築測量および建築材料実験などの科目を担当するとともに、寒冷地におけるコンクリート施工などをテーマとした卒業研究の指導を行っている。

また、就職支援センター主任として、ビジネススキルや就職活動支援などのキャリア支援を担っている。

【理念】

社会環境が著しく変化するなか、学生には学ぶことや人とのつながりを大切にしながら、豊かな人生を歩んでほしい。特に建設業界は、急速な高齢化に伴う人材不足に直面しており、情報通信技術や人工知能の活用による生産性向上、働き方改革が展開されるなど、大きな変革期を迎えている。そのため、次世代を担う学生には今まで以上に専門知識、課題解決力およびコミュニケーション力など多種多様な能力が求められることになる。

このような変動する時代において、必要とされる能力を継続的に修得し、社会的な評価や自己の満足感を得ることによって、充実した豊かな人生を送ることができると考える。また、建設業界は多くの人々との協働によって成り立つものであり、人間性を育むことも重要であると考える。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、学生に「学ぶことの楽しさや大切さ」や「人とのつながりの大切さ」を育むことが教育方針である。

- ・ **基礎知識の修得**

講義資料の充実化を図るとともに、講義では写真・動画を取り入れて理解度を高める。また、前回の講義内容を再確認するとともに、練習問題などを取り入れ、学生自身に学修成果が得られていることを実感させる。

- ・ **課題解決能力の修得**

基礎知識をもとに、その課題解決を図る能力を図るため、授業では演習やグループ単位の討論などを取り入れる。

- ・ **人とのつながりの大切さを育む**

学外の講演会や現場見学会、関連学会の発表会など、学外との接触機会を設ける。また、共同研究などを通して、さまざまな立場の関係者と協働し、成果を取りまとめていくような経験をさせていきたい。

【評価・成果】

- ・ 授業評価アンケートの結果を踏まえながら、評価・改善を行う。

【目標】

- ・ HUS-Moodle、Googleフォームなどを活用し、授業内容を充実させる（2021年9月）。
- ・ 学生との対話、プレゼンテーションを多く取り入れるような授業形式にする（2021年9月）。
- ・ FD講演会などに参加し、成功事例についての情報収集、活用を図る（2022年3月）。
- ・ 研究活動を継続し、関連学会に査読付き論文を投稿する（2022年3月）。
- ・ 外部機関や企業との共同研究を推進する（2023年3月）。